

平成23年第3回定例会
予算決算常任委員会県土整備企業分科会
提出資料

○ 議案補充説明

- I 平成23年度12月補正予算について 1
- ・ 議案第39号「平成23年度三重県水道事業会計補正予算（第3号）」
 - ・ 議案第40号「平成23年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第3号）」
 - ・ 議案第41号「平成23年度三重県電気事業会計補正予算（第4号）」

○ 所管事項

- I 平成24年度当初予算要求状況について 7
- II 平成23年度中間決算報告について 9

平成23年12月9日

企業庁

平成23年度12月補正予算について

1 水道事業【議案第39号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目
収益的収支	収入	10,089,154	19,108	10,108,262	その他営業収益 △ 146 他会計補助金 18,102 雑収益 1,152
	支出	11,151,865	△ 151,465	11,000,400	原水及び浄水費 △ 77,536 配水費 1,990 業務費 △ 96,757 総係費 419 資産減耗費 △ 3,309 支払利息及び企業債取扱諸費 △ 19,066 その他特別損失 42,794
	収益的収支差	△ 1,062,711	170,573	△ 892,138	収益的収支差は税込み
	純利益	△ 1,074,717	167,564	△ 907,153	純利益は税抜き
資本的収支	収入	3,826,180	△ 49,055	3,777,125	他会計出資金 △ 7,796 工事受託金 365 雑収入 △ 42,576 固定資産売却代金 952
	支出	9,326,744	△ 448,321	8,878,423	業務設備及び改良費 39,512 北勢水道改良費 △ 395,677 中勢水道改良費 △ 15,750 南勢水道改良費 △ 99,086 長良川河口堰水源費 △ 7,796 企業債償還金 21,879 国庫補助金返還金 8,597
	資本的収支差	△ 5,500,564	399,266	△ 5,101,298	資本的収支差は税込み

○債務負担行為 変更

(単位：千円)

事 項	変更前		変更後	
	期 間	限 度 額	期 間	限 度 額
播磨浄水場緩速攪拌機改良工事に係る契約	H24	229,320	H23~H24	327,600
茂福減圧弁改良工事に係る契約	H24	42,000	H24	79,854
高岡加圧ポンプ所電気設備改良工事に係る契約	H24	79,719	H24	161,179
高岡加圧ポンプ所ポンプ設備改良工事に係る契約	H24	14,623	H24	35,324
水沢浄水場受変電・配電設備改良工事に係る契約	H24	64,346	H24	114,346
浄水施設等設備点検工事等に係る契約	H23~H26	134,129	H23~H26	255,843
施設整備保全業務委託等に係る契約	H23~H26	277,010	H23~H26	303,189
行政事務用機器賃借に係る契約	H24~H26	1,194	H23~H28	13,444

追加（新規）

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
伊勢送水ポンプ所監視制御盤他改良工事に係る契約	H23~H24	69,930
雲出川水管橋下部工耐震設計業務委託に係る契約	H23~H24	15,750
平成24年度「県民の日」記念事業に係る契約	H23~H24	4,892
一般健康診断等委託に係る契約	H23~H24	1,790
財務会計システムに係る契約	H23~H24	1,381

【収益的収支】

(収 入)

収入についての補正は、19,108千円の増額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 他会計補助金 18,102千円
 蓮ダム管理費負担金の増加などに伴う一般会計からの補助金の増
- 雑収益 1,152千円
 君ヶ野公舎売却による増

(支 出)

支出についての補正は、151,465千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 原水及び浄水費 $\Delta 77,536$ 千円
 水資源機構等が所管するダム等の管理費負担金などの減
- 業務費 $\Delta 96,757$ 千円
 人件費（志摩水道事務所の廃止等）などの減
- その他特別損失 42,794千円
 平成22年度志摩水道事業の決算に伴う県負担額の確定による増

(純損失)

純損失については、収益的収入及び支出の補正により、既決の1,074,717千円から167,564千円改善し、907,153千円となる見込みであります。

【資本的収支】

(収 入)

収入についての補正は、49,055千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 他会計出資金 $\Delta 7,796$ 千円
 長良川河口堰管理費負担金の減少に伴う一般会計からの繰入金の減
- 雑収入 $\Delta 42,576$ 千円
 平成22年度志摩水道事業の決算に伴う志摩市負担額の確定による減

(支 出)

支出についての補正は、448,321千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 北勢水道改良費 $\Delta 395,677$ 千円
 事業計画の変更等による減
- 南勢水道改良費 $\Delta 99,086$ 千円
 契約額の確定等による減

2 工業用水道事業【議案第40号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的収支	収入	6,346,347	△ 4,744	6,341,603	その他営業収益	△ 146
					他会計補助金	△ 507
					受託工事収益	△ 4,914
					雑収益	823
					原水及び浄水費	△ 185,962
支出					配水費	6
					業務費	4,936
					総係費	△ 10,686
					資産減耗費	17,519
					支払利息及び企業債取扱諸費	△ 59,967
					受託工事費	△ 4,914
収益的収支差	482,595	234,324	716,919	収益的収支差は税込み		
純利益	384,820	226,368	611,188	純利益は税抜き		
資本的収支	収入	2,690,400	△ 74,143	2,616,257	国庫補助金	△ 56,659
					他会計出資金	△ 31,839
					固定資産売却代金	416
					工事受託金	13,939
					北伊勢工業用水道改良費	29,425
支出					北伊勢工業用水道第二次改良費	△ 218,702
					長良川河口堰水源費	△ 31,839
					企業債償還金	△ 183,014
					国庫補助金返還金	9,758
資本的収支差	△ 4,165,161	320,229	△ 3,844,932	資本的収支差は税込み		

○債務負担行為 変更

(単位：千円)

事 項	変更前		変更後	
	期 間	限 度 額	期 間	限 度 額
浄水場等設備点検工事等に係る契約	H23～H26	57,240	H23～H26	59,743
施設設備保全業務委託に係る契約	H23～H26	87,186	H23～H26	90,215
行政事務用機器賃借に係る契約	H24～H26	4,776	H23～H28	13,396

追加（新規）

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
配水管布設工事に係る契約	H23～H24	38,010
平成24年度「県民の日」記念事業に係る契約	H23～H24	2,307
一般健康診断等委託に係る契約	H23～H24	913
財務会計システムに係る契約	H23～H24	650

【収益的収支】

(収 入)

収入についての補正は、4,744千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 受託工事収益 △4,914千円
受託工事の減
- 雑収益 823千円
君ヶ野公舎売却による増

(支 出)

支出についての補正は、239,068千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 原水及び浄水費 △185,962千円
水資源機構等が所管するダム等の管理費負担金などの減
- 支払利息及び企業債取扱諸費 △59,967千円
平成22年度末に実施した公的資金補償金免除繰上償還による支払利息の減

(純利益)

純利益については、収益的収入及び支出の補正により、既決の384,820千円から226,368千円の増となり、611,188千円となる見込みであります。

【資本的収支】

(収 入)

収入についての補正は、74,143千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 国庫補助金 △56,659千円
地域自主戦略交付金の減
- 他会計出資金 △31,839千円
長良川河口堰管理費負担金等の減少に伴う一般会計からの繰入金の減

(支 出)

支出についての補正は、394,372千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 北伊勢工業用水道第二次改良費 △218,702千円
事業計画の変更等による減
- 企業債償還金 △183,014千円
平成22年度末に実施した公的資金補償金免除繰上償還による企業債償還金の減

3 電気事業【議案第41号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目
収益的収支	収入	3,117,549	△ 143,680	2,973,869	電力料(水力発電事業) △ 159,852 その他営業収益 △ 82 その他附帯事業収益 17,369 他会計補助金 △ 1,115
	支出	3,379,134	10,448	3,389,582	宮川第一水力発電費 201 宮川第二水力発電費 △ 1,839 宮川第三水力発電費 164 長水力発電費 20 三瀬谷水力発電費 19,504 大杉貯水池費 4 青蓮寺水力発電費 131 大和谷水力発電費 136 蓮水力発電費 142 青田水力発電費 86 比奈知水力発電費 153 一般管理費 △ 5,303 RDF発電費 △ 2,951
	収益的収支差	△ 261,585	△ 154,128	△ 415,713	収益的収支差は税込み
	純利益	△ 275,180 うち水力 △ 38,976 うちRDF △ 236,204	△ 295,141 うち水力 △ 314,336 うちRDF 19,195	△ 570,321 うち水力 △ 353,312 うちRDF △ 217,009	純利益は税抜き ※水力は事故繰越147,540千円を含んでいます。
	収入	34,090	-	34,090	
	支出	718,466	△ 15,732	702,734	宮川第三発電所改良費 20,000 三瀬谷発電所改良費 △ 35,700 青蓮寺発電所改良費 △ 32
	資本的収支差	△ 684,376	15,732	△ 668,644	資本的収支差は税込み

○債務負担行為 追加(新規)

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
蓮発電所水車発電機等内部点検その他工事に係る契約	H23～H24	194,334
平成24年度「県民の日」記念事業に係る契約	H23～H24	2,031
一般健康診断等委託に係る契約	H23～H24	1,064
財務会計システムに係る契約	H23～H24	572
行政事務用機器賃借に係る契約	H23～H26	3,600

【収益的収支】

(収 入)

収入についての補正は、143,680千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 電力料（水力発電事業） △159,852千円
紀伊半島大水害により発電施設が被害を受けたこと等に伴う供給電力量の減
- その他附帯事業収益 17,369千円
RDF処理単価の改定による増

(支 出)

支出についての補正は、10,448千円の増額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 三瀬谷水力発電費 19,504千円
人件費（対象職員（1名）及び時間外勤務手当の増）などの増
- 一般管理費 △5,303千円
人件費（対象職員（1名）の減等）などの減
- RDF発電費 △2,951千円
嘱託員報酬などの減

(純損失)

純損失については、収益的収入及び支出の補正に繰越事業費の確定分を加えたことにより、既決の275,180千円から295,141千円の増となり、570,321千円となる見込みであります。

なお、事業別の内訳は水力発電事業で353,312千円、RDF焼却・発電事業で217,009千円の赤字となる見込みであります。

【資本的収支】

(支 出)

支出についての補正は、15,732千円の減額となり、その主な内容は以下のとおりです。

- 三瀬谷発電所改良費 △35,700千円
非常用発電機取替工事の取止めによる減
- 宮川第三発電所改良費 20,000千円
溪流取水口水位計設置工事の施工内容の変更による増

Ⅰ 平成24年度当初予算要求状況について

1 施策別の予算要求状況

(単位：千円)

(参考)

施策番号	施策名	24年度要求額	23年度6月 補正後予算額	対前年度比
325	新しいエネルギー社会の構築	3,934,426	2,727,347	144.3%
354	水資源の確保と土地の計画的な利用	17,341,351	16,020,558	108.2%
その他	人件費・公債費等	13,071,741	18,319,987	71.4%
合	計	34,347,518	37,067,892	92.7%

2 主な事業

325 新しいエネルギー社会の構築

- ① 水力発電事業【基本事業名：32505 公営電気事業における電力の供給】
 当初予算額：(23) 1,710,692千円 → (24) 2,971,826千円
 事業概要：水力発電事業の民間譲渡に向けた必要な設備改修を行います。
 また、自然エネルギーである水力を利用した電力を安定的に供給するため、施設の適切な管理運営、計画的な設備改修を行います。

- ② 三重ごみ固形燃料(RDF)焼却・発電事業
 【基本事業名：32505 公営電気事業における電力の供給】
 当初予算額：(23) 1,016,655千円 → (24) 962,600千円
 事業概要：ごみの持つ未利用エネルギーを有効利用するため、引き続きRDFの品質管理を徹底するとともに、焼却・発電施設や貯蔵施設の適正な運転・保守、点検・整備に取り組み、安全で安定した運転を行います。

354 水資源の確保と土地の計画的な利用

- ① 水道設備改良事業【基本事業名：35402 水の安全・安定供給】
 当初予算額：(23) 1,770,115千円 → (24) 2,259,758千円
 事業概要：水道用水の安定給水をはかるため、北中勢及び南勢志摩水道用水供給事業の既存設備の更新や改良を計画的に行います。なお、耐震化については計画の一部を前倒しするなど積極的に進めます。
- ② 北伊勢工業用水道改良費【基本事業名：35402 水の安全・安定供給】
 当初予算額：(23) 2,423,867千円 → (24) 3,025,247千円
 事業概要：工業用水を安定的に供給できる施設機能を維持するため、施設の更新や改良を計画的に行います。なお、耐震化については計画の一部を前倒しするなど積極的に進めます。
- ③ 工業用水道設備改良事業【基本事業名：35402 水の安全・安定供給】
 当初予算額：(23) 292,378千円 → (24) 487,272千円
 事業概要：工業用水の安定給水をはかるため、多度、中伊勢及び松阪工業用水道事業の既存設備の更新や改良を計画的に行います。

【参考】会計別予算要求状況

(単位：千円)

会計名	平成24年度 当初要求額 (A)	平成23年度6月 補正後予算額 (B)	差引増減 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B) %
水道事業	16,596,283	20,334,129	△ 3,737,846	81.6%
工業用水道事業	12,333,642	12,719,313	△ 385,671	97.0%
電気事業	5,417,593	4,014,450	1,403,143	135.0%
計	34,347,518	37,067,892	△ 2,720,374	92.7%

※金額は収益的支出と資本的支出の合計

II 平成23年度中間決算報告について

1. 水道事業の損益収支

○ 平成23年度中間期の損益は、比較損益計算書のとおり、営業収益及び営業外収益を合わせた収益合計は、47億7千3百万円余(対前年同期比94.7%)であり、営業費用、営業外費用及び特別損失を合わせた費用合計は、61億8千6百万円余(対前年同期比62.1%)です。

その結果、当年度中間期の純損失は、収益と費用の差引14億1千2百万円余(対前年同期比28.8%)となりました。純損失の発生要因としましては、平成23年4月1日に志摩水道用水供給事業を志摩市水道事業へ一元化したため、特別損失が19億7千2百万円余発生したことによります。

なお、この特別損失を除いた当年度中間期の損益は5億5千9百万円余の純利益となり、前年度中間期における、特別損失を除いた純利益5億2千万円余より3千9百万円余増加しております。

○ 前年同期比の利益増減要因

主な利益増加要因(対前年同期比)		主な利益減少要因(対前年同期比)	
●配水費(修繕料等)の減少	56百万円	●給水収益の減少	240百万円
●業務費(人件費等)の減少	45百万円		
●総係費(退職給与金等)の減少	48百万円		
●減価償却費の減少	66百万円		
●特別損失(その他特別損失)の減少	3,462百万円		

○ 年間損益としては、9億7百万円余の赤字を見込んでいます。(特別損失を除いた年間損益は10億6千5百万円余の黒字を見込んでいます。)[12月補正予算後]

〈参考〉供給実績

○ 平成23年度上半期の水道水の供給量は3,803万 m^3 となっており、平成23年4月に志摩水道用水供給事業を志摩市水道事業へ一元化したことから、昨年度比5.4%の減となっております。

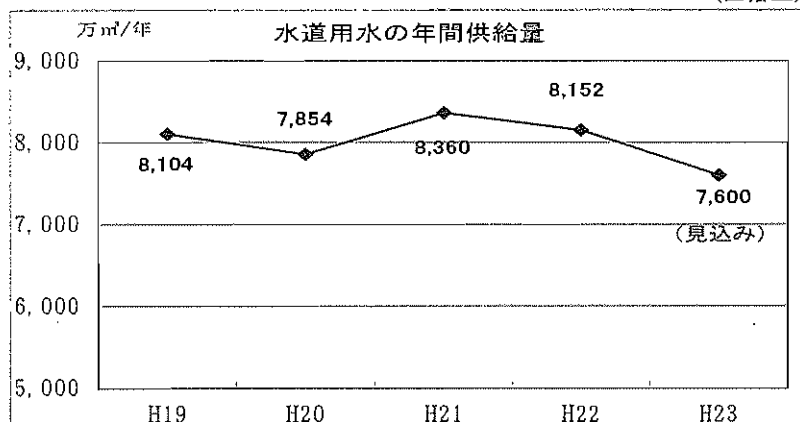
平成23年度年間供給量の見込みについては、昨年度を下回る水準(約7,600万 m^3)と予測しています。

【平成22、23年度上半期の供給実績】

(単位:万 m^3)

事業	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
水道事業	22	571	634	690	635	746	747	4,022
	23	595	665	619	644	698	583	3,803
	対前年比	104.2%	104.9%	89.7%	101.4%	93.6%	78.0%	94.6%

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)



比較損益計算書

平成23年4月 1日から
平成23年9月30日まで

水道事業会計

(単位:千円)

費 用				収 益			
科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比	科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比
営業費用	3,883,845	3,613,791	93.0	営業収益	4,933,907	4,693,135	95.1
原水及び浄水費	1,153,201	1,112,819	96.5	給水収益	4,931,928	4,691,677	95.1
配水費	313,722	257,197	82.0	その他営業収益	1,979	1,457	73.6
業務費	230,494	185,101	80.3				
総係費	303,272	255,181	84.1				
減価償却費	1,786,210	1,720,173	96.3				
資産減耗費	96,945	83,319	85.9				
営業外費用	636,864	599,603	94.1	営業外収益	106,992	80,071	74.8
支払利息	636,816	597,185	93.8	受取利息	19,144	12,385	64.7
受託工事費	-	2,403	皆増	他会計補助金	86,035	63,782	74.1
雑支出	48	15	31.6	受託工事収益	-	2,403	皆増
特別損失	5,434,797	1,972,793	36.3	雑収益	1,813	1,502	82.9
その他特別損失	5,434,797	1,972,793	36.3				
				当期収益合計	5,040,899	4,773,206	94.7
				当期純損失	4,914,607	1,412,982	28.8
合 計	9,955,506	6,186,187	62.1	合 計	9,955,506	6,186,187	62.1

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

※志摩水道用水供給事業一元化に伴う特別損失を除いた場合の純利益 559,811 千円

2 工業用水道事業の損益収支

- 平成23年度中間期の損益は、比較損益計算書のとおり、営業収益及び営業外収益を合わせた収益合計は、30億1千4百万円余(対前年同期比98.9%)であり、営業費用、営業外費用及び特別損失を合わせた費用合計は、27億2千7百万円余(対前年同期比100.0%)です。

その結果、当年度中間期の純利益は、収益と費用の差引2億8千7百万円余(対前年同期比89.7%)となり、前年度中間期の純利益3億2千万円余より、3千3百万円余減少しています。

- 前年同期比の利益増減要因

主な利益増加要因(対前年同期比)		主な利益減少要因(対前年同期比)	
●支払利息の減少	60百万円	●原水及び浄水費(負担金等)の増加	31百万円
●特別損失(その他特別損失)の減少	11百万円	●配水費(修繕費等)の増加	35百万円
		●資産減耗費の増加	24百万円
		●特別利益の減少	18百万円

- 年間損益としては、6億1千1百万円余の黒字を見込んでいます。〔12月補正予算後〕

〈参考〉供給実績

- 平成23年度上半期の工業用水の供給量は、8,964万 m^3 となっており、ユーザーへの供給量に大きな変化はなく、昨年度比0.8%の減となっています。

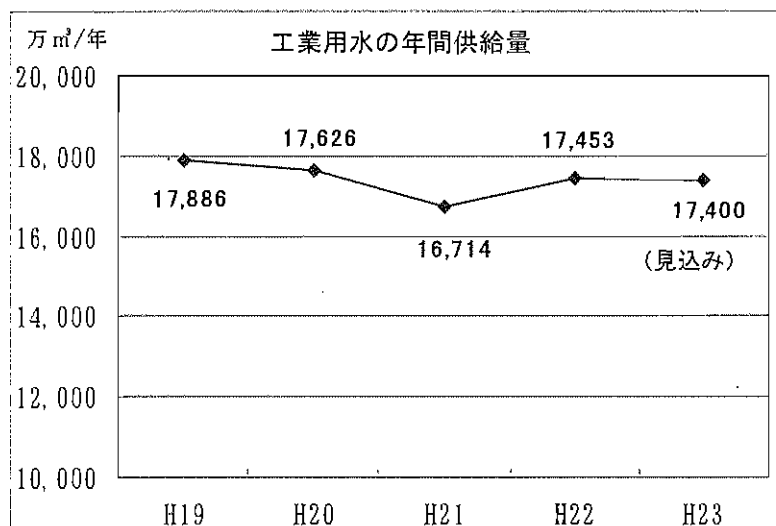
平成23年度年間供給量の見込みについては、昨年度と同水準(約1億7,400万 m^3)と予測しています。

【平成22、23年度上半期の供給実績】

(単位:万 m^3)

事業	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
工業用水道事業	22	1,352	1,472	1,476	1,573	1,602	1,565	9,040
	23	1,359	1,460	1,465	1,571	1,594	1,515	8,964
	対前年比	100.5%	99.2%	99.3%	99.9%	99.5%	96.8%	99.2%

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)



比較損益計算書

平成23年4月 1日から
平成23年9月30日まで

工業用水道事業会計

(単位:千円)

費 用				収 益			
科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比	科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比
営業費用	2,394,046	2,472,000	103.3	営業収益	2,996,272	2,996,995	100.0
原水及び浄水費	832,507	863,161	103.7	給水収益	2,706,240	2,709,221	100.1
配水費	117,757	152,662	129.6	その他営業収益	290,032	287,774	99.2
業務費	166,885	167,492	100.4				
総係費	171,120	165,709	96.8				
減価償却費	1,066,859	1,059,970	99.4				
資産減耗費	38,919	63,007	161.9				
営業外費用	314,272	248,352	79.0	営業外収益	32,428	17,494	53.9
支払利息	308,531	248,312	80.5	受取利息	20,669	11,393	55.1
受託工事費	5,694	-	皆減	他会計補助金	2,588	2,600	100.5
雑支出	48	40	84.3	受託工事収益	5,694	-	皆減
				雑収益	3,478	3,502	100.7
特別損失	17,730	6,667	37.6	特別利益	17,846	-	皆減
その他特別損失	17,730	6,667	37.6	固定資産売却益	17,846	-	皆減
当期費用合計	2,726,048	2,727,019	100.0				
当期純利益	320,499	287,470	89.7				
合 計	3,046,546	3,014,489	98.9	合 計	3,046,546	3,014,489	98.9

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

3 電気事業の損益収支

○ 平成23年度中間期の損益は、比較損益計算書のとおり、営業収益、附帯事業収益及び営業外収益を合わせた収益合計は、14億6千8百万円余(対前年同期比91.0%)であり、営業費用、附帯事業費用及び営業外費用を合わせた費用合計は、16億8千1百万円余(対前年同期比99.7%)です。

その結果、当年度中間期の純損失は、収益と費用の差引2億1千2百万円余(対前年同期比294.6%)となり、前年度中間期の純損失7千2百万円余より、1億4千万円余増加しています。純損失の増加要因としましては、水力発電事業における電力料の減少等によるものです。

○ 電気事業 事業別中間決算損益内訳 (単位:千円)

	H22中間決算(A)	H23中間決算(B)	増減(B)-(A)
水力発電事業	85,185	△84,695	△169,879
RDF焼却・発電事業	△157,352	△127,922	29,430
計	△72,167	△212,617	△140,450

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

○ 前年同期比の利益増減要因

主な利益増加要因(対前年同期比)		主な利益減少要因(対前年同期比)	
【水力】		【水力】	
●逆水力発電費(共有設備分担額等)の減少	31百万円	●電力料の減少	161百万円
●支払利息の減少	14百万円	●三瀬谷水力発電費(修繕費等)の増加	22百万円
		●青蓮寺水力発電費(修繕費等)の増加	36百万円
【RDF】		【RDF】	
●その他附帯事業収益の増加	15百万円	●特記事項なし	
●RDF発電費(委託料等)の減少	12百万円		

○ 年間損益としては、5億7千万円余の赤字(水力発電事業:3億5千3百万円余の赤字、RDF焼却・発電事業:2億1千7百万円余の赤字)を見込んでいます。〔12月補正予算後〕

比較損益計算書

平成23年4月 1日から
平成23年9月30日まで

電気事業会計

(単位:千円)

費 用				収 益			
科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比	科 目	前年同期 (22年4月1日～ 9月30日)	当 期	前年 同期比
営業費用	1,067,236	1,088,015	101.9	営業収益	1,242,679	1,081,735	87.0
宮川第一水力 発電費	61,951	54,017	87.2	電力料	1,242,064	1,080,895	87.0
宮川第二水力 発電費	100,355	99,302	99.0	その他営業収益	615	840	136.7
宮川第三水力 発電費	72,346	67,924	93.9				
長水力発電費	41,926	50,541	120.5				
三瀬谷水力 発電費	309,169	331,595	107.3				
大杉貯水池費	66,706	57,479	86.2				
青蓮寺水力 発電費	10,736	46,912	437.0				
大和谷水力 発電費	71,088	63,128	88.8				
蓮水力発電費	87,821	57,061	65.0				
青田水力発電費	87,252	94,718	108.6				
比奈知水力 発電費	29,628	47,568	160.6				
一般管理費	128,258	117,770	91.8				
附帯事業費用	524,131	512,346	97.8	附帯事業収益	367,064	384,623	104.8
RDF発電費	524,131	512,346	97.8	電力料	225,188	227,757	101.1
				その他附帯事業収益	141,875	156,866	110.6
営業外費用	95,287	80,897	84.9	営業外収益	4,744	2,283	48.1
支払利息	95,270	80,826	84.8	受取利息	4,282	2,268	53.0
雑支出	17	71	407.1	雑収益	462	14	3.1
				当期収益合計	1,614,487	1,468,642	91.0
				当期純損失	72,167	212,617	294.6
合 計	1,686,654	1,681,258	99.7	合 計	1,686,654	1,681,258	99.7

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

〈参考〉供給実績

① 水力発電

○ 平成23年度上半期の水力発電による電力供給量は、4月から5月中旬にかけて降雨量が少なかったことや紀伊半島大水害により発電施設が被害を受けたことから、約1億4,750万kWhとなり、昨年度比19.6%の減となっています。

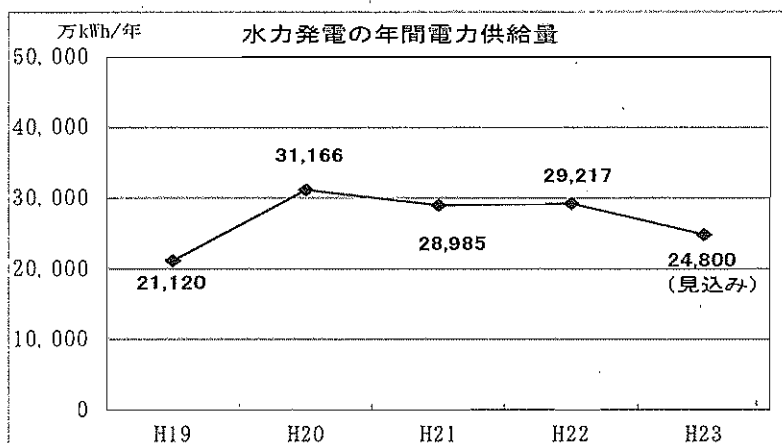
平成23年度年間供給量の見込みについては、昨年度を下回る水準(約2億4,800万kWh)と予測しています。

【平成22、23年度上半期の供給実績】

(単位:万kWh)

事業	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
電気事業 (水力)	22	3,206	3,830	3,426	3,747	2,833	1,301	18,343
	23	564	1,289	5,166	1,984	4,026	1,721	14,750
	対前年比	17.6%	33.7%	150.8%	52.9%	142.1%	132.3%	80.4%

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)



② RDF焼却・発電

○ 平成23年度上半期のRDF焼却・発電による電力供給量は、昨年度比1.6%増のRDFを受け入れ、昨年度比1.7%増の2,458万kWhとなっています。

平成23年度年間供給量の見込みについては、年間のRDF搬入量を昨年度とほぼ同量と見込み、昨年度と同水準(約5,000万kWh)と予測しています。

【平成22、23年度上半期の供給実績】

(単位:万kWh)

事業	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
電気事業 (RDF)	22	443	389	466	360	434	324	2,416
	23	326	510	343	413	456	410	2,458
	対前年比	73.6%	131.1%	73.6%	114.7%	105.1%	126.5%	101.7%

(四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

